

## 多品種対応 × 省人化

# 「異形部品の基板挿入を自動化。人材不足課題を解決!!」

### お客様の課題

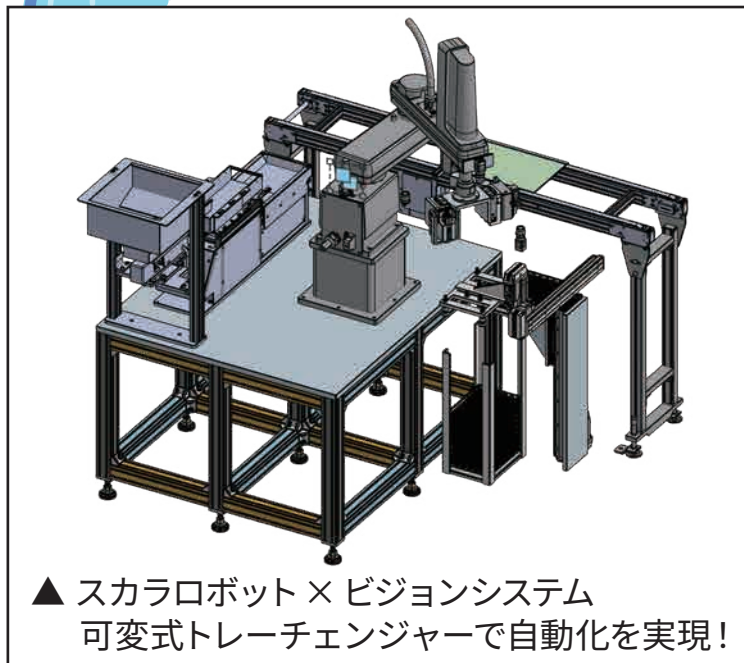


人件費高騰と人員確保が大きな経営課題。  
自動化しようにも、多品種小ロットで難しい工程なので、  
何から手をつけていいかわからない。  
さらに、異形部品の挿入作業で品質ばらつきが発生し困っている…。

### ヤマハのご提案内容



## スカラロボットとビジョンシステムで 多品種小ロット対応の自動化を実現！



▲ スカラロボット × ビジョンシステム  
可変式トレーチェンジャーで自動化を実現！

### 使用ロボット・設備

#### スカラロボット YK-XG

▶ 高精度・高速挿入で品質向上

#### ビジョン RCXiVY2+ 振動フィーダ

▶ 異形部品の位置・姿勢を認識し、  
安定供給

#### 可変式 トレーチェンジャー

▶ 段取り替えを自動化

### 参考納期・価格

4 か月～ 2,000 万円～

### 投資回収見込み

2 年 2 人→0 人  
500 万円 × 2 人 × 2 直 = 2,000 万円

### お客様の声



部品の極性間違いといったヒューマンエラーがなくなり、  
品質の安定化を実現できました。  
人材不足が深刻な中でも、省人化を進めながら、  
作業には付加価値の高い業務を任せることができ、  
現場・経営の両面で導入効果を強く感じています。